

第 4 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 4 号)

1 平成6年12月22日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1 番 秋山 光章	2 番 増田 基彦
3 番 島田 保	4 番 斉藤 実
5 番 宮沢 治海	6 番 植木 馨
7 番 鈴木 順子	8 番 永井 龍平
9 番 脇田 安保	10 番 庄司二三男
11 番 山崎 雅己	12 番 岩村 勝弘
13 番 榎本 春光	14 番 小宮 利夫
15 番 山中金治郎	17 番 鈴木 忠夫
18 番 日下 君敏	19 番 川名 正二
21 番 神田 守隆	22 番 福原 勤
23 番 石井 昌治	26 番 辻田 実
27 番 横溝 功	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

20 番 生稲 隆

1 出席説明員

市長 庄司 厚
収入役 川上 義雄
総務部長 神子 純一
経済部長 小沼 晃
水道課長 谷貝 実
教育委員会会長 高橋 博夫
選挙管理委員会会長 平嶋 倫治
監事 田村 哲也

助役 小幡 清之
市長公室長 永野 修
民生部長 渡辺 富雄
建設部長 三平 孝司
教育委員会会長 田村悦智子
選挙管理委員会会長 加藤 利
監査委員 山田 教和
農業委員会会長 斉藤 明

1 出席事務局職員

事務局 長	兵藤 恭一	事務局 長 補 佐	鈴木 哲
書 記	四ノ宮 朗	書 記	安田 仁一
書 記	小山 真	書 記	松浮 郁夏

1 議事日程（第4号）

平成6年12月22日午前10時開議

- | | | | |
|-------|---|--------|--|
| 日程第 1 | { | 議案第41号 | 安房郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に
関する協議について |
| | | 議案第42号 | 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定
について |
| | | 議案第46号 | 平成6年度館山市一般会計補正予算（第2号） |
| 日程第 2 | { | 議案第43号 | 館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正す
る条例の制定について |
| | | 議案第44号 | 館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等
の助成に関する条例の一部を改正する条例の
制定について |
| | | 議案第45号 | 館山市心身障害者医療費支給条例の一部を改
正する条例の制定について |
| 日程第 3 | { | 議案第47号 | 平成6年度館山市ユースホステル特別会計補
正予算（第1号） |
| | | 議案第48号 | 平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予
算（第2号） |
| 日程第 4 | { | 請願第21号 | 「義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する
意見書」採択に関する請願書 |
| | | 請願第22号 | 「教育予算の増額に関する意見書」採択に関
する請願書 |
| 日程第 5 | | 請願第23号 | 境川の改修及び代田排水路の整備をもとめる |

請願書

日程第 6 継続審査について

日程第 7

議案第 49 号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 50 号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 51 号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 52 号 平成 6 年度館山市一般会計補正予算（第 3 号）

議案第 53 号 平成 6 年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）

議案第 54 号 平成 6 年度館山市水道事業特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 55 号 平成 6 年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第 1 号）

日程第 8 発議案第 6 号 法務局職員の増員に関する意見書について

日程第 9 千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙

日程第 10 議会運営委員会委員の補欠選任について

開 議 午前 10 時 18 分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数 24 名、これより第 4 回市議会定例会第 4 日目の会議を開きます。

追悼の言葉

◎議長（辻田 実君） この際、御報告申し上げます。

本市議会議員鈴木勝美さんには、去る 16 日午後 8 時 28 分急逝されました。

ここに謹んで哀悼の誠を捧げ、御報告を申し上げます。

このことについて飯田義男さんから発言を求められております。暫時これを許します。

飯田義男さん。

(28番議員飯田義男君登壇)

◎28番(飯田義男君) ただいま議長から報告のありましたとおり、鈴木勝美議員には去る12月16日急逝されました。ここに皆様方の御同意をいただき、議員一同を代表いたしまして、謹んで哀悼の言葉を捧げます。

あなたは、昭和10年三芳村に生まれ、高校卒業後、自動車会社に勤務され、昭和55年、自ら観光会社を設立、今日まで営々として事業に専念されてまいられました。あなたのその卓越した指導力と情熱は、高い人望と相まって、地域住民はもとより、広く市民の支持を得るところとなり、昭和62年4月に行われた市議会議員選挙に立候補、見事に当選され、以来2期8年にわたって市政に参画し、市政の推進に邁進せられ、館山市発展に多大な貢献をされました。

あなたのその幅広い交友と政治的手腕は衆目の一致するところであり、市議会においては、この間、常任委員会委員長、三芳水道企業団議会議長、競輪組合議会議員などの要職につかれ、広範な分野での活躍をされ、残された業績は枚挙にいとまがありません。

また、外にあっては、スポーツによる青少年の健全育成に特に情熱を注がれておられました。寸暇を惜しんでは子供たちの指導を行い、多くの人材を育成されました。そして、体育施設の整備充実を訴えながら将来の夢を熱心に語られていたことがきのうのように思い浮かびます。

しかし、休養のいとまのない御活躍は次第にあなたの健康を損ね、人びとの期待を集めながら、ついに再び帰らぬ旅路につかれたのであります。今のあなたの無念さを思うとき、言うべき言葉を知りません。

また、あなたの温厚篤実なお人柄はだれからも愛され、また敬慕され、同僚議員はもとより、市長を初め市職員からも深い信頼を受けておられました。しかし、温容の中にも常に確固たる御自分の信念を持たれ、その信念に基づいて活動されておられました。

地方行政はますます多難な時代を迎え、本市におきましても重要な課題が山積し、あなたの豊かな経験と卓越した識見にまつべきものがあるとき、あなたを失いましたことは、個人として哀惜すべきはもちろんのこと、館山市にとっても大きな損失であり、返す返すも残念でなりません。しかしながら、あなたの残した終始一貫して誠実な精神と御功績は館山市に永久に輝き続け、市の振興発展と福祉向上に結びついていくものと信じて疑いません。

議員団野球部の中心選手として御活躍された雄姿は今はもうなく、あなたの議席である16番は空席となってしまったのであります。今ここにあなたの議席に花束を捧げ、その御功績をたたえ、温容をしのび、心から御冥福をお祈り申し上げまして、追悼の言葉といたします。

どうもありがとうございました。

◎議長（辻田 実君） 次に、市長から発言を求められております。暫時これを許します。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 執行部を代表いたしまして、故鈴木勝美議員の御逝去を悼み、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

鈴木さんには、昭和10年4月に生を受けられ、学業を終えられた後、自動車会社に就職されましたが、生来の明るさと温厚実直、飾りないお人柄で、青少年健全育成など幅広い活動が続けられ、地域にありまして大きな信頼を得るところとなりました。そして、昭和62年、市民の信望を担い、館山市議会議員に当選され、初陣を飾られたのであります。

以来、2期連続して当選され、市政の推進に参画されましたが、この間、千葉県競輪組合議会議員、文教民生委員会委員長、議会運営委員会副委員長、三芳水道企業団議会議長などの要職を歴任され、市民福祉の向上に多大な貢献をされました。

こうした熱心な議会活動とともに、スポーツマンで子供好きの鈴木さんは、スポーツ少年団指導者として、特に野球を通じて青少年の健全育成に情熱を注がれ、その長年にわたる功績により、平成3年度には日本体育協会スポー

ツ少年団指導者功労賞を受賞されました。

このように、人々をして親愛なる情と敬意を起こさしめた鈴木さんには今後の御活躍を期待していただいただけに、このたびの御逝去はまことに惜しまれてなりません。しかし、鈴木さんが館山市に尽くされた多くの御功績はこれからも脈々として生き続けるものと確信をしております。

おかげさまで、館山市は念願でありました首都圏からの道路網と水の問題が着実に解決の方向にあり、まさに南房総時代到来を告げる時代の転機を迎えております。これから私たちは、鈴木さんの御遺志を継承し、私たちの郷土館山市が21世紀に向かい大きく飛躍するため、今後とも行政と議会が連携をとりながら、新しいまちづくりに全力を傾注してまいります。

ここに、鈴木さんのこれまでの幅広い御活躍並びに御功績に対しまして、市民の皆様とともに厚く御礼を申し上げますとともに、改めて鈴木勝美さんの御冥福と御遺族の方々の御多幸を心からお祈りいたしまして、追悼の言葉といたします。

ありがとうございました。

黙 禱

◎議長（辻田 実君） この際、故鈴木勝美さんの霊に謹んで黙禱を捧げ、御冥福をお祈りいたしたいと思えます。

御起立願います。黙禱始め。

（起立、黙禱）

◎議長（辻田 実君） 黙禱を終わります。御着席願います。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第41号、議案第42号及び議案第46号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、12月16日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長斉藤 実さん。御登壇願います。

（総務委員会委員長斉藤 実君登壇）

◎総務委員会委員長（斉藤 実君） ただいま議題となりました議案第41号、議案第42号及び議案第46号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、19日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第41号安房郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に関する協議についてであります。まず、補助率を5%とした根拠及び国や県の補助についての質疑に対し、従来の社会福祉施設等に助成をしてきた経過の中で、事業者からの要請に対し、5%で実施予定と聞いている。国、県についても定額の補助があるとの回答がありました。

また、老人保健施設は、リハビリ等を中心にして、在宅と病院の中間施設として位置づけられており、在宅看護の充実を図らないと十分に機能し得ない施設と思うが、その点についてどのように考えるかとの質疑に対し、在宅の看護体制については、民間の訪問看護ステーション等をなるべく早く開設できるよう推進をしていきたい。また、ホームヘルパーについても、看護資格を有するヘルパーの採用を考えていきたいとの回答がありました。

議案第42号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてであります。討論において、政党交付金の交付を受ける政党等に対する法人格の付

与に関する法律は、国民の税金で政党への助成を行おうとする趣旨のもので、政党が国家の資金で運営される点において大きな問題を含んでいる。この点を指摘した上で、この条例全体については減税ということが趣旨であるので賛成するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第41号、議案第42号及び議案第46号については、全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中実施した行政視察について報告いたします。

本委員会は、10月24日から26日まで宮城県気仙沼市及び岩手県遠野市を視察いたしました。

気仙沼市では、市の事務事業の民間への委託の状況について調査いたしました。また、釧路沖地震の直後でございましたので、地震対策、特に津波対策について説明を受けるとともに、気仙沼市が独自に開発した潮位・津波観測システム、防災センター等を視察いたしました。

遠野市では、市の行政機構、市民サービス機構の近代化について説明を受けました。また、保健、医療、福祉を一体とした拠点施設である健康福祉の里を訪問し、各種福祉サービスの状況について視察いたしました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第43号乃至議案第45号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、12月16日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました議案第43号乃至議案第45号に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、19日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第43号乃至議案第45号については一括して審査を行いました。いずれも健康保険法等の改正により、入院時食事療養費の負担を助成しようとするものでありますが、県の補助規定及び市の年間支出額等について質疑を行い

ました。

また、市が乳幼児、母子家庭等及び心身障害者に対し、入院時食事療養費の負担を助成することについて評価するが、今後市独自で年金生活者に対しても助成することはできないかとの質疑に対し、今回は県の補助対象となる制度について検討した。年金生活者については考えていないとの回答がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第43号乃至議案第45号については、いずれも全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中に実施した行政視察について御報告いたします。

本委員会は、10月3日から5日まで山口県小野田市及び岩国市を視察いたしました。

小野田市では、福祉行政全般について説明を受けるとともに、精薄者更生施設「みつば園」を訪問し、施設の概要、運営方針及び入所者の状況等について視察いたしました。

岩国市では、昨年建設された岩国市医師会病院について、建設に至る詳細な説明を受けるとともに、医師会病院を訪れ、施設の概要、運営状況等を視察いたしました。特に、医療施設の整備については当市においても懸案となっているため、岩国市医師会病院建設に係る資金及び用地確保、また施設運営等の補助に対する対応については非常に参考になりました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。

よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第3、議案第47号及び議案第48号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、12月16日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長増田基彦君登壇）

◎建設経済委員会委員長（増田基彦君） ただいま議題となりました議案第47号及び議案第48号に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、同日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第47号平成6年度館山市ユースホステル特別会計補正予算（第1号）

についてであります。補正の内容について説明を求めたところ、老朽化した冷凍庫を購入するものであるとの説明がありました。

さらに、このほかに老朽化しているものはあるのかとの質疑に対し、外壁等が老朽化しているが、県の施設でもあるため、今後県とも協議し、改善に向け努力していきたいとの回答がありました。

委員からは、ぜひきれいな施設で利用客を迎えてほしいとの要望がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第47号及び議案第48号については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中に実施した行政視察について御報告いたします。

本委員会は、10月3日から5日まで福岡県大川市及び福岡市を視察いたしました。

大川市では、産業振興対策について説明を受けるとともに、特に地場産業として主産業となっている家具生産について、総合インテリア産業振興センターの運営状況等を視察いたしました。

福岡市では、市制100周年記念事業として実施された人工海浜を主体としたシーサイドももち海浜公園、マリナタウン海浜公園を訪れ、施設の設置目的、利用、運営の状況について視察を行いました。

以上御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、請願第21号及び請願第22号の各請願を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各請願は、12月16日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました請願第21号及び請願第22号に係る文教民生委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました請願書につきまして、19日招集された委員会において審査を行いました。

審査の結果、付託を受けました請願第21号「義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書及び請願第22号「教育予算の増額に関する意見書」採択に関する請願書につきましては、全員一致をもってい

ずれも採択するものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各請願についての委員長の報告は採択するであります。

各請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各請願は採択することに決しました。

日程の追加

◎議長（辻田 実君） ただいま採択されました請願書に附帯して、発議案第7号教育予算の確保及び義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書についてが提出されました。

この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 発議案第7号教育予算の確保及び義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書についてを議題といたします。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

◎議長（辻田 実君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

宮沢治海さん。

（5番議員宮沢治海君登壇）

◎5番（宮沢治海君） ただいま議題となりました発議案第7号教育予算の確保及び義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本議案につきましては、ただいま採択されました請願書の趣旨を体しまして、本市議会としても関係機関に意見書を提出いたしたく、7名の賛成者を得まして提案いたしました次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第5、請願第23号境川の改修及び代田排水路の整備をもとめる請願書を議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました請願は、12月16日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長増田基彦君登壇）

◎建設経済委員会委員長（増田基彦君） ただいま議題となりました請願第23号境川の改修及び代田排水路の整備をもとめる請願書に係る建設経済委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして当委員会に付託されました本請願につきまして、同日招集された委員会において審査を行いました。

委員から、家屋の浸水や道路が冠水し、住民生活に重大な支障を来しているとのことであるが、どのくらいの雨量で、また何回くらい発生しているのかとの質疑に対し、時間の長短にもよるが、時間雨量約30ミリくらいで道路の冠水や床下浸水となり、ことしは発生していないが、年平均1回ないし2回くらい発生するとの説明がありました。

また、どのような改修方法があるのか説明を求めたところ、国道410号バイパスにより地域の分断を図り、汐入川上流へ分散させる方法、国道128号から流入する雨水を農業排水路を利用して鶴戸川橋方面へ流す方法及び川幅の拡張、床下げをする方法が考えられるが、今後県と協議していくとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました本請願書につきましては、全員一致をもって採択するものと決しました。

以上、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本請願についての委員長の報告は採択するであります。

本請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は採択することに決しました。

日程の追加

◎議長（辻田 実君） ただいま採択されました請願書に附帯して、発議案第8号境川の改修整備に関する意見書についてが提出されました。

この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 発議案第8号境川の改修整備に関する意見書についてを議題といたします。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

◎議長（辻田 実君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

増田基彦さん。

（2番議員増田基彦君登壇）

◎2番（増田基彦君） ただいま議題となりました発議案第8号境川の改修整備に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本議案につきましては、ただいま採択されました請願書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、8名の賛成者を得まして提案いたしました次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（辻田 実君） 日程第6、請願の継続審査についてお諮りいたします。

総務委員会に付託中の請願第18号消費税の税率引き上げ反対の意見書を求める請願書について、委員長から、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

本請願を委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承を願います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第7、議案第49号乃至議案第55号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 提案理由を御説明申し上げます。

議案第49号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第50号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第51号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年8月の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定及び10月の千葉県人事委員会の勧告に基づき、館山市におきましても、一般職の給料、諸手当につきまして、国及び県に準じ、その額を改定しようとするものでございます。また、あわせて市議会議員及び市長等の期末手当につきましても所要の措置を講じようとするものでございます。

次に、議案第52号平成6年度館山市一般会計補正予算（第3号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ4,745万8,000円を追加し、総額162億7,385万2,000円としようとするものでございます。

歳出の内容といたしましては、各款における人件費及び下水道事業特別会計への繰出金の補正でございますが、これは給与改定等によるものでございます。

これらの財源といたしまして、前年度繰越金 4,745万 8,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第53号平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）でございますが、給与改定及び職員の増員に伴う人件費で 913万 7,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第54号平成6年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、給与改定等に伴う人件費で、収益的支出におきまして 367万 9,000円の減額をお願いしようとするものでございます。

次に、議案第55号平成6年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、給与改定に伴う人件費で、収益的支出におきまして58万 3,000円の追加をお願いしようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して起立により行います。

各議案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第8、発議案第6号法務局職員の増員に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

斉藤 実さん。御登壇願います。

（4番議員斉藤 実君登壇）

◎4番（斉藤 実君） ただいま議題となりました発議案第6号法務局職員の増員に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本議案につきましては、委員会において了承できるものとされた陳情書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、6名の賛成者を得

まして提案いたしました次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午前 11 時 18 分 休憩

午前 11 時 33 分 再開

◎議長（辻田 実君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙

◎議長（辻田 実君） 日程第9、千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は1名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。

千葉県競輪組合議会議員に福原 勤さんを指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました福原 勤さんを千葉県競輪組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり、福原 勤さんが千葉県競輪組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました福原 勤さんが議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

議会運営委員会委員の補欠選任

◎議長（辻田 実君） 日程第10、議会運営委員会委員の補欠選任を行います。

補欠委員の数は1名であります。

議会運営委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、議長が会議に諮って指名することになっております。

議会運営委員会委員に日下君敏さんを指名いたします。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、日下君敏さんを議会運営委員会委員に選任することに決しました。

閉 会 午前11時36分

◎議長（辻田 実君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第41号乃至議案第55号
- 1 請願第21号乃至請願第23号
- 1 発議案第6号
- 1 千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙
- 1 議会運営委員会委員の補欠選任
- 1 継続審査について（請願第18号）
- 1 日程の追加・発議案第7号及び発議案第8号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会副議長

館山市議会議員

館山市議会議員